

健康づくりについて政策提言書

1 はじめに

生活習慣病の予防や重症化予防が健康寿命の延伸や医療費抑制を目的に、嬉野市においては、各種の健診（検診）への取り組みや、高齢者のフレイル予防など健康づくりについて取り組まれている。

今後、全市民を対象とした予防医学的な取り組みも含め、更なる健康づくりへの気運の醸成と取り組みが重要になってくると考え、健康づくりについて政策提言を行う。

2 経過

令和 7 年 5 月 21 日	熊本県合志市へ産官学連携での健康づくり事業についての視察
令和 7 年 8 月 7 日	滋賀県湖南市へ健康づくりについての視察
令和 7 年 8 月 8 日	健康づくり課からのヒアリング実施
令和 7 年 9 月 1 日	文教福祉常任委員会内での検討
令和 7 年 9 月 5 日	文教福祉常任委員会内での検討
令和 7 年 9 月 12 日	幹事会開催
令和 7 年 9 月 18 日	政策討論会開催
令和 7 年 9 月 18 日	文教福祉常任委員会内での検討
令和 7 年 9 月 22 日	幹事会開催
令和 7 年 10 月 3 日	政策討論会開催

3 現状と問題点

健康づくり課では、通常の業務はもとより保健師や管理栄養士を地区担当保健師・管理栄養士として配置し相談体制や健康課題、病気の予防法、運動や食事についての説明等をアウトリーチで個別的対応ができる地域とのつながりを重視した仕組みが構築され、疾病予防や健康増進への取り組みが行われている。

嬉野市国民健康保険第 3 期保健事業実施計画（データヘルス計画）及び第 4 期特定健康診査等実施計画（令和 6 年度から令和 11 年度）が策定され、それをもとに、嬉野市の実態と目指すべき方向性が示された。課題の分析や健診（検診）において受診勧奨の実施、また、ハイリスク者、特にメタボリックシンドロームのリスク数に応じ、情報提供や動機的支持また、積極的支持等の特定保健指導を細やかに実施されており、その点において

は非常に評価できる。

しかしながら、健診（検診）等の受診データについては、国民健康保険加入者が中心であり、社会保険や公的保険加入者のデータや状況はつかみにくく、市民全体の健康づくりへのニーズ分析には至っていない。また、依然として嬉野市は国民健康保険の1人当たりの医療費が高く（令和5年度のデータで全国が28,443円、佐賀県35,567円、嬉野市37,559円）、その背景として、市内に医療機関が多数あり、治療が受けやすい環境ではあるが、予防医学という視点が弱いと感じる。

将来的に健康寿命の延伸や医療費抑制のためには、現在行っている取り組みをさらに拡充させるとともに、若い時から健康に対する意識の醸成に向けた取り組みが重要と考える。

4 提言

- 1 市民の健康づくりをさらに推進していくため、担当課はもとより他部局との組織横断的連携に重点を置き実施されること。
- 2 健診（検診）等において幅広いデータを取得・解析し、新たな健康づくり事業への展開と医療機関との連携に努めること。
- 3 健康づくりのため運動を行う事業の展開や、市民が健康増進に日常から関心を寄せられるよう、血圧計や体組成計などの設置を行い、健康状態が気軽に見える化できる環境整備に努めること。
- 4 民間企業との連携やデータ分析、また、エビデンスにもとづいた健康増進事業の実践に向け、大学等の教育機関とも協働した産・官・学連携の健康づくり施策の実践を行うこと。

以上、提言とする。

なお、執行部におかれては検討していただき、結果を当議会に報告していただきますようよろしくお願いいたします。